

学校法人 大阪学院 令和4年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 基本情報

① 法人の名称

学校法人 大阪学院

② 主たる事務所の住所、電話番号、FAX番号、ホームページアドレス等

〒565-0861

大阪府吹田市高野台4丁目2番1号

TEL: 06-6871-3307 Fax: 06-6871-3364 HP: <https://tamagawa-k.ed.jp>

(2) 教育目標

幼稚園教育とは、幼児を心身ともに総合的に成長させ、自立した人間としての基礎を形成することを目的とする、という認識にたち以下の目標を設定する。

① 子どもの心を育てる

② よい仲間社会を育てる

(3) 設置する学校

玉川学園幼稚園

〒565-0861 大阪府吹田市高野台4丁目2番1号

① 認可定員 850名（26クラス）

定員内訳 3歳児280名（8クラス）、4歳児285名（9クラス）
5歳児285名（9クラス）

② 利用定員 810名（25クラス）

定員内訳 3歳児270名（9クラス）、4歳児270名（8クラス）
5歳児270名（8クラス）

(4) 園児数の状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
5歳児	8cl	253	252	252	249	245	246	246	246	246	246	247	246
4歳児	8cl	234	233	233	233	228	229	229	230	230	226	226	226
3歳児	7cl	190	190	190	189	188	190	189	190	190	189	189	188
合 計	23cl	677	675	675	671	661	665	664	666	666	661	662	660

(5) 教職員の概要

教員数							職員数			
本務者					兼務者		本務者		兼務者	
園長	副園長	主幹	教諭	計	教諭	計	職員	計	職員	計
1	1	1	4 2	4 5	3	3	4	4	8	8

2. 事業の概要

(1) 設置園の教育活動の概要

当法人は、教育基本法、学校教育法および子ども子育て支援法に則り、学校教育と子育て支援を行うことを目的として玉川学園幼稚園を設置し、その運営を行うものである。令和4年度においても、在籍する幼児が心身ともに健全に育つように教育環境の整備と保育の充実に努め、幼稚園教育に付随する子育て支援のための各種事業も継続および拡充を行った。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症は感染拡大の波を繰り返したが、社会経済活動を元に戻そうとする機運が高まったことや幼児のオミクロン株による症状は概ね軽症であることから、本園の教育活動も制限を少しずつ緩和していった。具体的には、参観日や運動会、発表会等は学年またはクラスごとの分散形式をとったものの予定通りに実施し、夏期保育や観光バスによる遠足も復活させた。また年度後半には、園児の園内におけるマスク着用も基本的に取りやめ、コロナによる学級閉鎖の基準も緩和したが、園内での新型コロナウイルスの感染拡大は見られなかった。こうしたことから、年度後半はほぼコロナ禍前の運営に戻すことが出来たが、一年を通して見たとき、園の教育活動を保護者にご覧いただく機会が不十分であったことは否めなかった。次年度以降、こうした機会を増やしていくことが大切である。

令和4年度も新型コロナウイルスの感染対策と教育活動の両立に腐心したが、保護者には一定の理解を得られていると言える。年度末の無記名保護者アンケート（回収率68%）において、99%の保護者が子どもを本園に通わせて「大変良かった」（67%）または「良かった」（33%）と回答し、94%の保護者が「コロナ禍での教育の成果」について「満足できる」と回答いただいている。

職員研修は、園内研究会を毎月1回の頻度で実施するほか、保育と表現の会が主催する勉強会に参加して日々の保育の充実に努めた。また、厚労省が制定した保育士等キャリアアップ研修を全員が種々の分野について受講したほか、園児の事故を未然に防ぐための危機管理の研修を専門の講師を招いて実施した。

子育て支援事業においては、預かり保育を年間通して午前8時～午後7時の範囲で実施した。預かり保育の需要は高く、今年度ののべ利用者数は25,693名にのぼり、総園児数が減少しているにも関わらず高いのべ利用者数を維持している。子育て支援事業のキンダーカウンセリング事業は概ね月1回の頻度で実施して子育てをする保護者や本園職員の相談に臨床心理士が応じた。未就園児対象の親子体操教室は、コロナ禍のため今年度も実施を見送った。一方、未就園児対象のプレスクール（幼児教室）は今年度から再開し、幼稚園入園前の幼児の集団遊びの指導を行った。火曜日から金曜日の週1回コースで実施した。

(2) 実施した主な行事

実施日	内 容	学年
4月5日	入園式（3回の分散開催）	新入園児
4月11日	進級児始業式	年長・年中
4月13日～18日	個別面談	年長・年中
4月20日～25日	個別面談	年少
5月10日	春の遠足（王子動物園）	年長
5月12日・19日	春の遠足（五月山公園）	年中
5月24～26日	保育参観日	学年ごと
6月7日～10日	体操参観日	年長・年中
6月16日	プール開き	全学年
7月6日	七夕あそび会	全学年
7月7日～13日	プール参観日	全学年
7月14日～20日	個別面談	全学年
7月21日	同園会	卒園児
8月25日～31日	夏期保育	全学年
10月9日	運動会（3回の分散開催）	学年ごと
10月13～18日	おいもほり	学年ごと
10月21日	遠足（万博公園）	年少
10月24日	遠足（海遊館）	年長
10月31日	遠足（海遊館）	年中
11月8日	七五三園外保育（伊射奈岐神社）	年長
11月22日・25日	うたとリズムの発表会	年少
12月6日～8日	うたとリズムの発表会	年中
12月10日	製作展	年長
12月15日～19日	クリスマス会	学年ごと
12月15日～20日	個別面談	全学年
2月14日～17日, 21日	生活発表会	年中
2月17日～22日	生活発表会	年少
2月28日～3月2日	生活発表会	年長
3月3日	ひなまつり会	全学年
3月3日・6日	個別面談	希望者
3月6日	お楽しみ会（父母の会主催）	学年ごと
3月16日	卒園式（2回の分散開催）	年長
3月20日	修了式	年中・年少
毎月最終金曜日(原則)	誕生会	全組

(3) 避難訓練の実施状況

日時	設定	訓練内容	避難場所	参加園児
7月14日 10時	火災	給食室から火災発生の想定 避難経路確認と園児の誘導	運動場	全学年
12月13日 10時	火災	給食室から火災発生の想定 避難経路確認と園児の誘導	運動場	全学年

(4) 健康診断等の実施状況

内科検診	歯科検診	尿検査
5月19日・26日・6月2日	6月9日・16日・7月7日	5月24日・25日

身体測定：毎学期ごと、 視力検査：年1回

(5) 預かり保育ののべ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実施日数	19	19	22	20	18	20	
のべ利用児数	1,742	2,078	2,588	2,044	1,414	2,226	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	20	20	19	17	19	21	234
のべ利用児数	2,347	2,456	2,219	2,068	2,112	2,399	25,693

3. 財務の概要

本園は令和2年度より「子ども子育て支援新制度」に移行し、国が定める公定価格に基づく施設型給付金を吹田市から受けて運営をしている。また、幼児教育保育の無償化で保護者からの納付金は大きく減少しているため、移行後の事業活動収入に占める施設型給付金等の公的資金の割合は80%を超えている。

今年度の事業活動収支において、経常収支差額は収入超過になっているが、前年度に比べると減少している。これは、園児数が前年度から減少したことによる施設型給付金等の補助金収入や保護者納付金が減少したことに加え、コロナ禍で縮小していた各種行事等の事業活動をコロナ禍以前に近づけたことによる教育研究経費の増加によるものである。今後吹田市においても少子化がさらに進むことは確実であり園児数の増加は見込めない。より一層の預かり保育の充実や満3歳児保育の実施など、低年齢長時間保育の取り組みを進めることが必要である。

施設設備関係では、保育室（全14室）の床・壁の改修を施した。機器備品関係では園児用ロッカーの買い替えや園庭の老朽化した大型遊具の入れ替えなどを行った。これらの固定資産の取得に多額の支出を要したが、資金収支における繰越支払資金は黒字を維持している。